

科目	応用CAD (Applied CAD)		
担当教員	亀屋 恵三子		
対象学年等	都市工学科・4年・後期・選択・1単位(学修単位I)		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A-4-1(100%)	JABEE基準1(1) (d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	本講義では、3年で習得したCAD基礎の知識を基に、2次元CADソフト (Auto CAD LT) のコマンドの基本操作方法や描画法を習得する。また、創造教育演習として戸建住宅を考案してCADによる製図 (立面図, 平面図および断面図の図面) を実践する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A-4-1】 AUTO-CADを用いた製図ができるようになる。		到達度を課題提出物の図面巧拙により評価する。
2	【A-4-1】 修得した力学を応用することができる		設計条件の範囲内で3次元のものを2次元で如何に表現するかを成果物より評価する。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、レポート100%として評価する。100点満点とし60点以上を合格とする。		
テキスト	プリント		
参考書	「図解 AutoCAD LT2002 スタートアップガイド」：村上 良一 著 (翔泳社) 「AutoCAD LT 2000 2000i 2002 建設編」：PDS CADセンター著 (北樹出版)		
関連科目	CAD基礎, 設計製図, 構造力学I		
履修上の注意事項	本教科の関連科目は設計製図およびCAD基礎であり, 将来CADを使用する可能性が考えられ, CADを幅広く活用できる技術者を目指す学生に対する科目であり, クラスの1/2程度の受講を見込んでいる。		

